世界旅行で算数探検！

企画・構成 科学的教育グループ SEG®
www.seg.co.jp

リョッピー世界をめぐる！ カンボジア

第5話 アンコール遺跡にて［後編］

■編集／青木 亮二 ■イラスト／野中 理恵

ブノン・バケンでお昼をとったリョッピーたち。遺跡見学も後半戦に突入です。

ガイドのアラーイさんが地図を手に

「わたしたちは今、ここにいるわ。いくつかの遺跡を見てから最後にアンコールワットね！」

「はーい」

さっそく車でレッツゴーです。

アラーイさんが、遺跡案内をしながら話を始めます。

「アンコール遺跡は、数百年のあいだ、ずーっと誰にも発見されず密林の中にひっそりたたずんでいたの。百数十年前に発見されてから今まで、みんなで遺跡をきれいにしようってがんばってるんだけど、このように大自然の力や、内戦、盗掘など人の手によってこわされ、遺跡にとってはつらい日々がつづいてきたのよ。

わたしがね、こうして遺跡のガイドをしているのも、もっともっと多くの人に、この遺跡のすばらしさを知ってほしいから。多くの人が、すばらしいって思ってくれたら、きっと遺跡もずっと大切にされるって思うわ」

「ぼく、ごみなんか絶対すてないー」

「それはあたりまえのこと！」

ブータンがぴしゃりといいます。

みんなが遺跡の歴史を思いえがいていたところに、またなごやかな雰囲気がもどってきました。

「いよいよアンコールワットに到着よ。正面に見えるのがアンコールワット。きれいに山の字型に見えるのがそうよ。でも、その前に……」

そうです。アラーイさんの「とっておきの謎かけ」です。

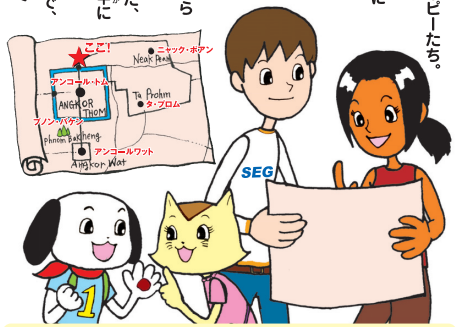
「わたしたちは今までに2回、アンコールワットを見たわね。1回はブノン・バケンの山の上で斜めの方向から、もう1回は今、正面から見ているわ。2回とも3本の塔が山の字型に見えたわね」

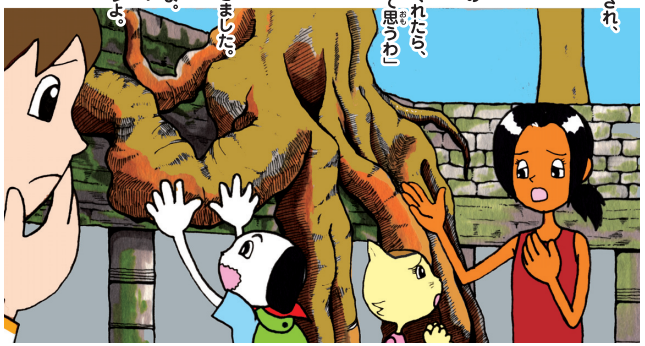
うん、うん、とうなずく3人。

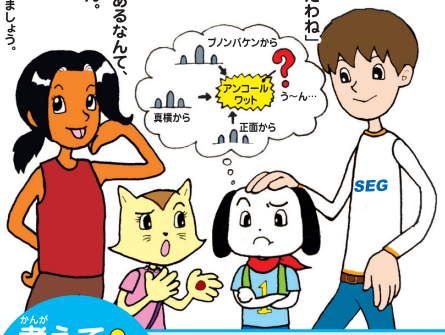
「ちなみに真横から見ても山の字型に見えるのよ。でもね、じつはアンコールワットに、塔は5本あるの」

3人はきょとんとしてしまいました。3本にしか見えない塔が、じつは5本あるなんて、どういうことか、さっぱりわかりません。アラーイさんは、してやったりの顔でにこにこしています。

※下の写真を見る前に、どういうことか考えてみましょう。







おにいさん 大の旅行好き。でも、実は算数名人。

ブータン リョッピーの友だち。意外としっかり者。

リョッピー 不思議大好き。でも、ちょっと泣き虫。

アラーイさん 遺跡のガイドをしている。

考えてみよう！ アンコールワットはどんな建物なのかな？

問題の難易度 ★★☆☆☆

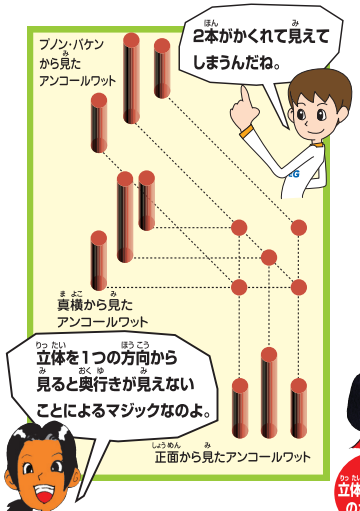
「へえー、どうしてこんなふうにつくったんだろう？意地悪して3本に見えるようにしたのかな」

「そうね、これをきっかけに調べてみたら」

アラーイさんのおかげで、たっぷりアンコール遺跡を楽しむことができた3人。

「また会いましょう。そのときは、またなぞなぞを用意するわね！」

さてさて次回はどんな不思議が待っているのでしょうか？（つづく）

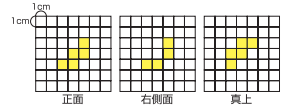


真上から見ると、たしかに5本あるね！

立体図形問題のポイント 真上、正面、側面など、いろいろな方向から見た図を組み合わせると、本当の姿が想像できるよ。

中学入試問題にアタック！

Q 次の投影図を作るために必要な1辺の長さが1cmの立方体の最低個数を求めなさい。



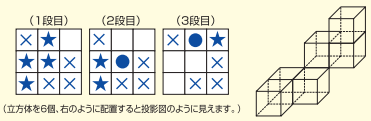
（2004年　栄東中 一部改）

解答 1辺の長さが3cmの立方体を3×3×3＝27個に分割します。この27個の立方体からいくつかをのぞいて、投影図のように見える形にしましょう。

真上から見た図を元に、（上から）1段目、2段目、3段目の3×3個の立方体のうち、×のついたところの立方体をのぞきます。

正面から見た図を元に、★の立方体をのぞきます。最後に、右側面から見た図を元に、●のついた立方体をのぞきます。残る立方体（何も印のついていないもの）は6つですから、答えは「6個」

（答）6個



（立方体を6個、右のように配置すると投影図のように見えます。）